

東栄町第6次総合計画 後期計画 (令和3年度～令和7年度) 2021年～2025年



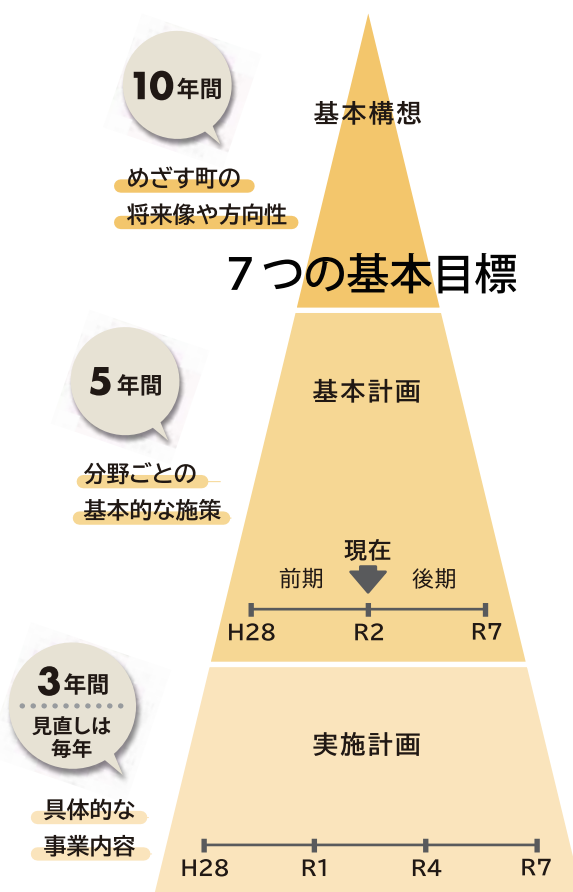
概要版

東栄町 総合計画

平成28年度～令和7年度

? 総合計画とは

総合計画とは、まちづくりを総合的かつ計画的に進めることを目的とした、将来のまちづくりの指針となるもので、町の最上位の計画です。



基本構想

まちづくりの基本理念

豊かな自然環境、古から伝承される歴史や伝統文化、住民の温かく素朴な人柄、これらが本町の特徴です。これら地域の財産を生かし、住民同士が互いに助け合いながら、過疎地での暮らしを営んでいます。

こうしたまちを住みやすいと感じ、今後も住み続けたい、訪れたいと思えるまちとしていくため、町民みんなが力をあわせ、本町の特徴を最大限に生かして、みんなが幸せを実感できるまちを育んでいきます。

まちづくりの目標

暮らし続けられるまちを未来につなぐこと

将来イメージ

「山のめぐみをうけ ともに築く彩りの里」
～幸せを実感できる最先端の田舎をめざして～



後期計画とは

令和3年度 >>> 令和7年度

10年間で目指す基本構想の実現に向け、社会情勢の変化や制度改正並びにこれまでの施策評価等を踏まえ、見直しを行いました。

計画の役割・位置づけ

実効性のある計画へ

- 計画に基づく事業実施と行政評価に基づく事業見直しの循環
- SDGsとの関係性を明確化

進行管理ができる計画へ

- 施策ごとに目指すべき将来の姿と目標値を明確化

社会の変化に対応した「みんなのまちづくり計画」へ

- まちづくり基本条例に基づいた協働のまちづくり
- 新たな感染症の発生等、社会変化への対応

SDGsとは？

2015年9月に国連において、先進国と発展途上国がともに取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標(2030アジェンダ)が採択され、その中で持続可能な開発目標(SDGs)として17のゴール(目標)と169のターゲットが掲げられました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



基本計画 重点プロジェクト

暮らしの安全・安心プロジェクト

子どもからお年寄りまで、住み慣れた地域や自宅で安全・安心かつ健康に暮らし続けられるまちを目指します。

暮らしを支える賑わいプロジェクト

町内への人の流れを活かして事業者が利益を上げ、暮らしに必要な商業や産業が持続するまちを目指します。

暮らしの安全・安心プロジェクト

- ◆ 在宅での暮らしを支えるための取組
- ◆ 安心して子育てができる環境づくり
- ◆ 安全・安心な環境づくり
- ◆ 町民の暮らしを支える商工業や産業の継続
- ◆ 暮らし続けられるまちの実現に向けた協働によるまちづくり

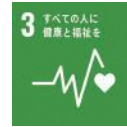
暮らしを支える賑わいプロジェクト

- ◆ 民間事業者が稼ぐための仕組みづくり
- ◆ 事業者連携やスタートアップのための拠点機能の強化
- ◆ 魅力発信の強化
- ◆ とともに暮らす仲間づくり

基本目標と施策の紹介は4ページから



1 支えあう健康福祉のまちづくり

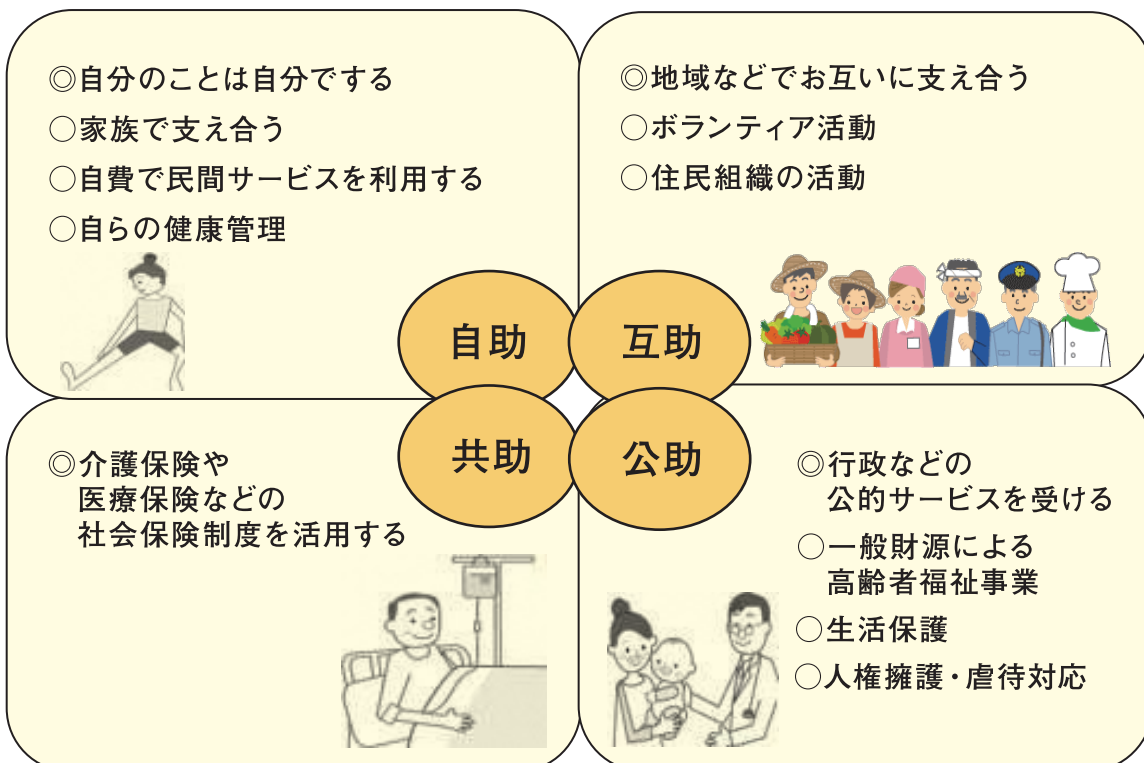


医療・保健・介護・福祉等の分野の枠を超えた連携によって、
住み慣れた地域で健康に暮らすことができる町

- 総合的な窓口機能の整備
- 健康づくりの推進
- 地域医療の確保
- 子育て支援サービスの充実
- 地域包括ケアシステムの推進
- 多様な福祉サービスの提供 など



ケアシステムにおける 自助・互助・共助・公助の考え方とその一例



[資料:東栄町地域包括ケア推進計画]

2 豊かな文化と心を育むまちづくり



町の文化や歴史を大切にしながら、未来を担う子どもたちを地域全体で育むことで、将来につながる人づくりができる町

- 一人ひとりに応じたきめ細かな教育の推進
- 連携教育の推進
- 子どもの居場所づくり
- 生涯学習の充実
- 伝統文化の継承
- 人権尊重の推進 など



タブレットで勉強する児童たち

国のGIGAスクール構想により、1人1台端末の整備をしました。児童たちは、インターネットを使った調べ学習やアプリを活用した学習、カメラ・動画を使った情報の記録などで活用しています。

※GIGAスクール…学校におけるICTを活用した教育



花祭等の伝統文化

町内の各地区で開催される「花祭」をはじめとする伝統文化。今後も地域が望む形で継承できるように取り組みます。

3 安全・安心に暮らせるまちづくり



日々の暮らしも、災害時も、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりに、日ごろからみんなで取り組むことができる町

- 町民・行政が一体となって行う防災まちづくり
- 防犯対策の推進
- 安全な交通環境の整備
- 町土保全のための環境づくり
- 施策と連動した土地の利活用検討 など



それぞれの立場で取り組む災害への備え ～自助・共助・公助の考え方～

- ・防災まち歩きなどを通じた危険箇所の確認
- ・防災マップなどを活用した避難経路の確認



[資料:総務課]

4 環境と暮らすまちづくり



身の周りの生活環境も、昔から大切にされてきた自然環境も、行政・事業者・町民がそれぞれの役割の自覚と行動によって、みんなで守り未来につなげていくことができる町

- ごみの排出量の削減
- 環境美化活動の推進
- 公害の防止
- 安定した水の供給と施設整備
- 下水道、農業集落排水の長寿命化 など



みんなで取り組もう!ごみを減らす3つのR

リデュース **R**educe → リユース **R**euse → リサイクル **R**ecycle

使う資源や
ゴミの量を減らす



ものを繰り返し使う



使い終わったものを
資源として再利用する



[資料:環境省3Rまなびあいブックより抜粋]

5 活力のあるまちづくり



農地や森林、河川などを保全するとともに、人の流れを活かした地域内経済循環の輪を拡大させ、暮らしに必要な産業を維持・活性化できる町

- 農用地の保全
- 林業従事者の確保・育成
- 振草川鮎を活用した地域内経済循環
- 事業存続と起業等に対する対策
- 地域資源を活用した利益を生み出す仕組みづくり など



みんなで取り組む活力のあるまちづくり ～中学生の取組～

平成29年度に「清流めぐり利き鮎会」で日本一となった鮎の生息地である振草川を守ることを目的に、中学生全生徒による河川清掃が行われました。地域を大切にする思いや誇りとともに、「私に何ができるだろうか」という視点を持って行動する中学生の姿は、まちづくりを進めていくための大きな力であり、未来をともに創る頼もしい存在です。



〔写真:R2.9.28中学生生徒会活動～Are you beautiful?～〕

6 定住・交流を支えるまちづくり



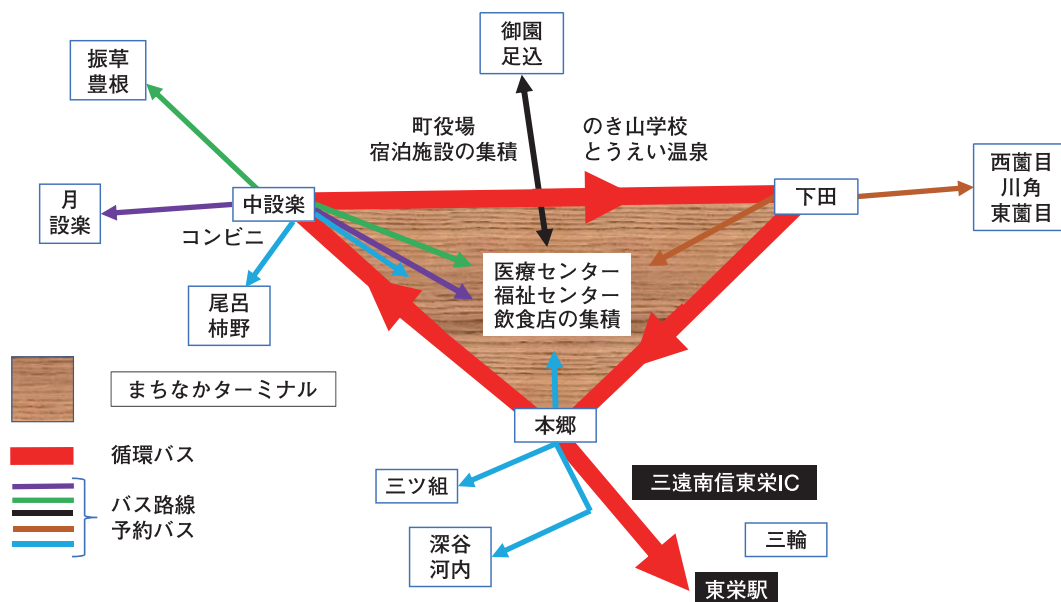
町に暮らす人や関わる人の確保や、暮らしに必要な基盤整備によって、東栄町での暮らしを支えるとともに、町外とつながることができる町

- 暮らし続けるための支援
- 町道の整備と適正な維持管理
- 暮らしを便利にする公共交通
- 時代に即した計画的・戦略的な情報基盤整備 など



定住・交流を支える公共交通のイメージ

暮らしに必要な機能が集まる地区と町内各地区を公共交通で結び、便利で暮らしやすいまちにします。またJR飯田線東栄駅発着のバスを運行し、通学や通院、町外からの来訪など町内と町外をつなぎます。



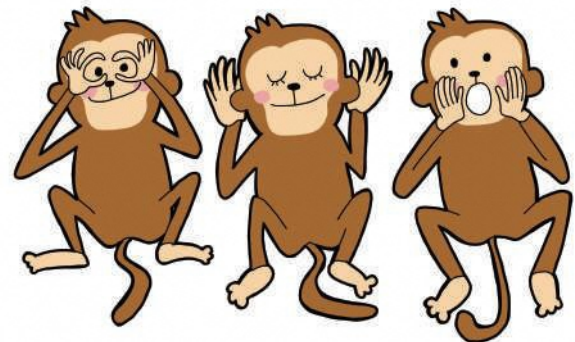
[資料:第2期東栄町まち・ひと・しごと創生総合戦略]

7 協働によるまちづくり



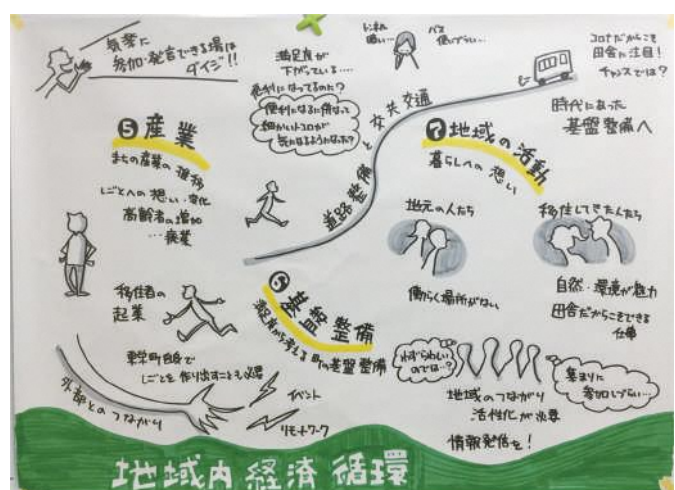
まちづくりを下支えする安定的かつ時代に即した行財政運営と、適切な情報提供と共有により、みんなで町の将来を決めることができる町

- まちづくりへの参加機会の確保
- 地域づくり活動への取組
- 町政に関する情報提供
- 公共施設の適正な管理・運用
- 多様な地域連携の推進 など



みんなで話そう。 明日につながるまちづくり

令和2年9月に東栄町まちづくり座談会を開催しました。暮らしを支える7つの分野に分かれて、これまでのまちの変化とこれからのまちづくりについて自由に意見交換しました。座談会は毎年行っています。今後もみなさんのご参加をお待ちしています。



[資料:令和2年度東栄町まちづくり座談会]

第6次総合計画／発行 東栄町

〒449-0292 愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25番地

☎ 0536-76-0501(代表)

🌐 <http://www.town.toei.aichi.jp/>

